

基本情報技術者試験(FE)の午前試験免除制度とは？

IPAの認定を受けた講座を受講し、修了試験（FEの午前試験に相当）に合格する等の基準を満たした者は、FEの午前試験が1年間、免除となる制度です。講座のカリキュラムが認定要件を満たしていれば、認定を受けることができます（認定期間は、2年間）。

手続きの流れ

1

カリキュラムの申請（免除対象講座）

- カリキュラムの審査
カリキュラムの内容が、100の受講項目に対応しているかを審査します。足りない項目があったときは、教材追加等を依頼させていただきます。
- 審査手数料
審査には35,000円の手数料が必要です。
- 審査期間
約2か月間かかります。

2

実際に行う講座の申請（実施講座）

- 実施講座の承認
講座の期間、受験予定の修了試験をIPAに提出します。修了試験は2回まで設定できます。承認までに約7日間（5営業日）かかります。申請は無料です。

3

実施講座の開講

- 実施講座の進め方
通常の授業と同じように、学校内で学習を行うことができます。

4

修了試験実施の申込み／修了試験の実施

- 修了試験実施の申込み
IPAに修了試験実施の申請を行います。
- 問題提供料
受験者一人あたり2,000円が必要です。
- 修了試験の実施
試験問題はIPAが提供します。学校内で修了試験を実施できます。

5

修了認定者の決定・報告

- 修了認定者の決定・報告
修了試験の採点は、学校側で行い、修了認定者をIPAへ報告します。

基本情報技術者試験の午前試験免除

午前試験免除制度について

■ 午前試験免除のポイント

- 修了試験は2回まで受験できるので、1回目の修了試験で不合格になっても再受験できる。
- 修了試験合格者は、午後試験の学習に集中することができる。

■ 導入した学校の声

- 基本情報技術者試験の合格率が上がった。
- 基本情報技術者試験に応募する学生の数が増えた。
- 学生の資格取得への学習意欲が向上した。
- 午前試験と午後試験の学習指導時期を分けられるので、段階的に集中して授業や学生指導を行うことができた。
- 基本情報技術者の資格取得を推進していることを受験生にアピールできた。
- 修了試験を自校内で実施できるので、生徒が緊張せず受験できた。

■ 基本情報技術者試験に対する企業の声

- 新卒採用時、履歴書に基本情報技術者以上の合格が記載されていれば、技術的知識への期待から採用意欲が大いに高まる。
- 新卒採用時、基本情報技術者の資格を有することを応募条件とし、有資格者の学生を実際に採用した。
- 基本情報技術者は、現場に入る前に身につける知識としては1番評価している。
- 若年層は、基本情報技術者の取得を企画職に就くための条件としている。
- 技術部門は基本情報技術者以上を持っていないと昇格できない。
- 入社後3年以内に基本情報技術者を取得するのが、昇進の条件。

ITエンジニアの登竜門

基本情報技術者試験

- ITエンジニアとしてキャリアをスタートするには、まず基本情報技術者試験を受験することがお勧め。しっかりと基礎を身に付けることができます。基礎を身に付けることによって、その後の応用力の幅が格段に広がります。
- プログラミングやコンピュータサイエンスを基礎から体系的に習得し、論理的思考力を養うことができます。
- 情報セキュリティ、ネットワーク、データベースなどITに関する知識を幅広く習得することで、システム開発、IT基盤構築などの局面で役立つ力を身に付けることができます。

お問い合わせは

独立行政法人情報処理推進機構（IPA）
情報処理技術者試験センター

Mail jitec-kouza@ipa.go.jp
TEL 03-5978-7600（講座担当）

【受付時間】 9:30～12:30、13:30～18:15
【休み】 土・日・祝日・年末年始